

●ニュース
飛躍の1年を
総まとめ!

いた便り No. 6

2007. 3. 1



岡崎まち育てセンター・りたは、市民活動を応援します。



拠点 づくり

岡崎まち育てセンター・りたは、市内各地域の市民活動や地域づくり活動を応援すべく、地域交流センターの運営を行っています。1号館である北部地域交流センター・なごみんでは、開館から2年を経て、利用者が着実に増えてきています。開館初年度の平成17年度は、月平均で3000人程度でしたが、平成18年度は、月平均で5000人程度という実績です。市民が出会い、交流し、まち育てに参画する基盤施設として、大切な場に成長しています。

★ ★ ★

平成19年度に、岡崎市が中心市街地(康生地区)活性化基本計画を見直す予定となっています。都心再生に関する市民意見を、今年3月に市に提案する活動が、岡崎城下まち都心再生協議会を核にして動いており、りたはこの活動を支援しています。

「康生地区は、岡崎の中心であると同時に、西三河地区の中心である」という認識を持ち、「知的な刺激や感動が得られる、生涯学習タウン・康生地区」という再生ビジョンに向けて、市民・企業・行政の力をつないでいきます。



会員紹介

＜岡崎保護区更生保護女性会＞

当会は、設立31年目を迎え、犯罪をなくし、人間を大切に、ぬくもりある社会づくりの実現を基本方針にして、女性の持てる力を結集し、地域に密着した活動を推進しています。平成18年度は、岡崎医察刑務所の見学、運動会の激励、名古屋矯正管内少年院バレーボール大会の激励を行いました。

社明運動(※)は、保護司の方々と一緒に行い、会員の人たちが作った標語を書いて、かわいい帽子と鈴をつけた手作りの品物を配布し、とても好評でした。

岡崎自啓会には、年間を通して生花奉仕を学区輪番制で行っています。そしてレクリエーション大会への参加協力、年末にはおはぎ作りを行い、寮生とふれあいをもちました。これからは、第2、第4土曜日に、寮生と共にコラーージュ作りを行い、少しでも社会復帰のお手伝いが出来たらと思っています。



※“社明運動=社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。



岡崎まち育てセンター・りた

団体会員(年会費 10,000円)

個人会員(年会費 3,000円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局(Tel 0564-45-4560)

会員募集中です!



「岡崎の活性化を考えるシンポジウム」報告



平成 20 年に、図書館を核とした生涯学習施設（仮称）岡崎市図書館交流プラザ・Libra（りぶら）が開館するのはご存知でしょうか？この施設が建つ前から、市民のサポーター活動が始まっており、サポーター活動事務局を、りたが担っています。このサポーター活動の一環で、昨年 11 月 4 日（土）、21 世紀まちづくり研究所（康生シビコ 6 F、以下まち研）にて、しんぼ部会主催の「岡崎の活性化を考えるシンポジウム」が開催されました。内容的に、岡崎まち育てに示唆的でしたので、概要の紹介をさせていただきます。

※しんぼ部会とは…

しんぼ部会では、平成 20 年に完成予定の図書館交流プラザの活用を通じた岡崎の活性化を目的として、いつでもどこでも誰でも進歩したシンポジウムを開けることを目指して企画を行っている。

【事例紹介】

パネリストの皆さんよりそれぞれの所属グループの活動について紹介いただきました。

■エコ塾ネットワーク

- ・ エコ塾ネットワークは、主に企業の OB の人が中心となって、中小企業の ISO 自己宣言（内部審査員を養成して、ISO のルールに則ってシステムを運用する仕組みづくり。NPO と内部審査員が協働して維持管理を行うことを目的としており、ここで企業の経験が活かされる）、特許取得や設備管理等の支援をしている
- ・ 今後、団塊の世代の人材や企業の経験を活かして、中小企業の支援を行い、岡崎市では事業所環境 ISO を採用しているので、これに登録する企業を全面的にバックアップして、人材を活用して岡崎の活性化をしていきたい。

■働く婦人会館自主グループ代表者会

- ・ 1971 年に地域における女性労働者の福祉に関する事業を行う総合的福祉施設として設立。市が企画運営をする一般教養・健康などの定期講座があり、一年ごとに定期講座の成果を発表する。
- ・ 受講者の中に、継続して受講したい人々が自主グループを設立し始め、1981 年には自主グループが 66 に達した。
- ・ 個々のグループの場所の確保、時間帯の調整、講師の費用等の問題を、相互間の連絡、情報交換を通じて解決するため、自主グループ代表者会が設立された。代表者会は、社会見学や講演会、講習会を自主計画して、会員相互の親睦を図ってきた。また、自主的に婦人会館の館内清掃奉仕、草取り清掃奉仕、老人ホームの花壇の手入れなどを行っている。
- ・ 現在は、着物着付け、いきいき体操、茶道、ヨガ、童謡、古文学習など、34 グループ、573 名で活動を行っている。
- ・ 図書館の開館に伴い、婦人会館が閉館される。今後活動の核となる図書館交流プラザで、どのように活動を展開し、それを岡崎の活性化つなげていけるかを考えたい。

【ディスカッション】

パネリストのみならず、会場の参加者の方々からも様々な意見が出され、白熱した議論が展開された。



■岡崎の魅力とは

- 岡崎のよいところは、膨大な歴史的遺産が、歴史の古い新しいに関わらず、現存していること。こうした財産があることが我々の誇りであり、それがまちを活性化する母体になる。
- また、歴史的遺産だけではなく、合併した額田の豊かな自然環境も、自分たちのまちに誇りを持つ基盤となる。

■「活性化」の定義

- 落ち着いた市民生活、学びのある市民生活、生きがいのある生活の場の創造が活性化ではないか。
- 活性化というのはいろいろあるし、正解がない。それぞれの人が考えて動くこと、そしてそれがつながっていくことが、まちの活性化につながる。実験的にいろいろやってみることが大事。
- これからの活性化は、経済の活性化ではなく、文化の活性化を目指すべき。
- 21世紀まちづくり研究所や図書館交流プラザなどが、多様な人々に自主的な活動の場として利用され、それが活性化につながっていけば良い。

■図書館交流プラザの運用について

- イオンは一日いても駐車場は無料。図書館交流プラザは、現在この辺りで駐車料金を取っているのので、駐車料金を支払うようになるという話が出ている。3時間までは駐車料金無料という話があるが、3時間では活動が終わらないことがある。なごみんやよりなんの実情を見ると、施設利用料がかかるのは致し方ないと思うが、駐車料金がそれにプラスされると負担が大きくなる。周りに駐車場を貸している方もいるので難しいかもしれないが、一日気持ちよく過ごせるように工夫をしてもらいたい。
- 環境の面からも、市内各地から公共交通で気軽に来られるようにすることが大事だと思う。
- 再来年の開館にむけて、今から市の各課、NPO、図書館、婦人会館の自主グループなど図書館に関わるすべての主体がどのように運営、管理をするかを、市民の立場から考えていこう。

■市民一人ひとりの気持ちをつなげ、形にしていくための場づくり

- 学習する楽しさを分かち合って、何かやりたいけど何ができるかわからないという団塊の世代の人々にやりたいこととやれる場所を提供し、市民の思いを形にしていくことが大事。
- あそこにいけば何かあるという期待感をもてる場づくりをしていきたい。
- 誇れるものを地域の皆さんが出していこうという意識、それがつながって市民同士、行政と市民間の連帯感が生まれるのではないか。
- 行政に任せて、他力本願ではなかなか話が進まない。サポーター交流会の中で、俺たちが住む地域では俺たちが汗をかいてやっていくんだという気持ちを植えつけてほしい。
- 地域の人やグループに真剣に取り組んでいこうという気持ちがあれば、必ず行政のトップは力を与えてくれるし、見てくれる。主導権は住民、バックアップを行政という役割分担。交流を通じて段々輪を広げていくと言うことが第一歩。

（りた事務局より）

りぶらサポーター活動をされている皆さんと共に、岡崎の活性化拠点 Libra を盛り上げていきます。

岡崎まち育て情報 …「りた」は岡崎市内各所のまち育て活動を支援し、市民と行政の対話を促進しています。



①「市民協働モデル事業報告会」

日時：**3月3日（土）13:00～16:00**
場所：南部地域交流センター・よりなん第6活動室
主催：岡崎市・市民協働推進課市民協働班
内容：市民・市民団体・企業・行政が互いに手を取り合い、よりよいまちづくりを考え、実行していく「市民協働モデル事業」の実施結果報告会（中間報告含む）。報告は、平成17・18年に選定した12事業。（協働推進委員として参加）

②「りた事務局会議」

日時：**3月9日（金）9:30～12:00**
場所：南部地域交流センター・よりなん防災活動室
主催：りた事務局
内容：りた事務局の定例会議（月に1回開催）。まち育て事業、地域交流センター事業など、多彩な事業の進捗状況の共有と今後の方針検討を行います。

③「（仮称）岡崎市図書館交流プラザ管理運営検討会の成果を市長に提出」

日時：**3月13日（火）13:00～**
（検討委員のみの参加となります）
主催：岡崎市教育委員会康生地区拠点準備室
内容：今年度1年間議論してきた、図書館交流プラザの管理運営方法について、検討会案をとりまとめ、岡崎市長に提出。（管理運営検討委員として参加）



④「遊！ 悠！ 友！ 劇&講演会」

日時：**3月17日（土）13:00～16:30**
場所：コミュニティ・サテライト・オフィス（松坂屋岡崎店6階）
主催：りぶらサポーター図書館部会、おかざき図書館倶楽部
内容：市民の思いを形にする「アートマネジメント」を皆さんと一緒に学びたいと思います。講師には、NHKで芸術・文化を中心とした解説を担当している田村孝子さん（解説委員）をお迎えします。

専門家派遣の情報 …近隣地区の市民参加型まちづくりに専門家派遣をしています。

【豊田市】

①「つなぎすと養成講座—中間支援で大切なこと」

日時：**3月4日（日）9:00～12:00**
場所：豊田市教職員会館
主催：とよた市民活動センター
内容：9月から続く「つなぎすと養成講座」の最終とりまとめ講義。市民と市民、市民と行政、市民と企業をつなぐ、中間支援者の心得と技術を講演します。

【名古屋市】

歴史的建築物も残る名古屋のオアシス白壁地区のまちづくり。専門家発、市民発の動きを応援。

②うるわしきまち採集系ワークショップ

日時：**3月10日（土）10:00～16:00**
場所：文化のみち二葉館に集合後、まち歩き
主催：地元建築家、デザイナー有志

③文化のみちワークショップ「人・街・建物をつなぐ」

日時：**3月21日（水・祝）13:30～17:00**
場所：榎木館
主催：文化のみちワークショップ実行委員会

事務局より

子ども達が、まちづくりや市民自治を学ぶ場づくりに向けて動き始めました。

〒444-2147 岡崎市西蔵前町字季平45-1
岡崎市北部地域交流センター・なごみん内
NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた事務局
☎(0564) 45-4560 Fax (0564) 45-4560